

／ 知ってほしい。消防署のこと。／

「ヒーロー」であるために！

■問合せ 枕崎市消防本部 TEL72-0049

いつ、どんな災害が起こるか分からない。市民に助けを求められたとき「もう大丈夫、私たちが来ました」と言えるヒーローであるために、消防職員が行っている日々の訓練や業務の様子を紹介します。

今月紹介するのは、「**中学生の消防署職場体験学習**」です！

消防署では、毎年5月～7月の時期に、枕崎市内の各中学校から職場体験学習の受け入れを行っています。

職場体験学習では、消防車からホースを伸ばしての放水や、救助隊が訓練するようなロープ渡り・登り、要救助者の救出活動や、要救助者役などを通して、災害現場でのさまざまな活動を疑似体験できます。また、災害現場だけではなく、消防職員が災害を予防するために日々行っている事務作業など、普段は見られない消防署の日常を感じることができ、カリキュラムの中にある「普通救命講習」を修了することで、もしもの時の応急処置方法も学べます！

参加した生徒たちからは、「災害に出動するスピードがすごかった」、「重い装備で活動する大変さを知った」、「災害予防のための仕事を初めて知った」などの感想をいただきました。

私たちは、ここから**【未来のヒーロー】**が誕生することを楽しみにしています！

枕崎市消防本部 公式Instagram

消防に関するイベントや訓練などの情報を発信しています。

フォロー、いいね！をよろしくお願いします！



▲オリンピックミュージアム

今月の担当は 赤池 隊員 です！

こんにちは、地域おこし協力隊の赤池です。

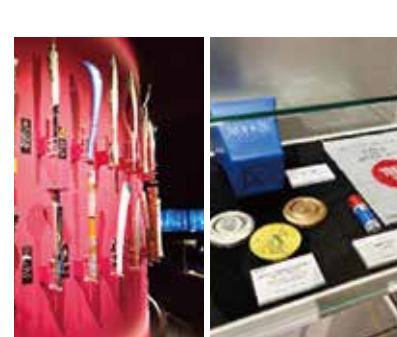
暑い日が続いていますね…。油断せず、熱中症対策を十分に行って、スポーツを楽しみましょう！！

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く！

スポーツ観戦

突然ですがみなさん、スポーツ観戦は好きですか？私はスポーツはどちらかというと「する」よりも「みる」方が好きで、年間を通してさまざまなスポーツを観戦しています。執筆している時はサッカーワールドカップの真っ最中で、世界中が盛り上がっています。「普段サッカーは見ないけど、この期間は日本代表の試合を見るなんて方も多いのではないのでしょうか？私もその一人で、4年に一度のこの時期だけは夜中であろりと応援する国の試合は欠かさず見ています。ニュースでは試合の映像や、客席、各地のパブリックビューイングなどさまざまな映像が流れますが、私は日本を含め自国を本気で応援しているあの熱量と一体感が大好きです。国際大会に限らずですが、一喜一憂があり、あの何とも言えない団結した雰囲気は自然と出来上がるころは、スポーツならではの良さだと改めて感じました。また、誰かの頑張りや努力を「みる」というのは結果に関わらず、活力になったり、感動や勇気をもらえたりするものだと思います。今月も異常な暑さが続き、外で体を動かしたり、激しい運動はなかなか難しい気候です。そんな時は、スポーツ観戦で「みる」スポーツを楽しみましょう！



オリンピックミュージアム

先日東京に行った際、国立競技場のすぐそばにある、オリンピックミュージアムを見学しました。こは、オリンピックの歴史を学べる場所、大会が始まった経緯や、移り変わりを知ることが出来るほか、歴代大会の聖火トーチや1964年、2020年の東京オリンピックの記念品や実物使われていた物品など貴重な展示を見ることが出来ます。また、オリンピックの身体能力をゲーム感覚で体験できるブースもあり、老若男女楽しめます。個人的に、競技スポーツの経験がある人にとってはかなりテンションが上がる場所だと思えますが、そうでない人でも今後オリンピックを見る際に楽しめるような新しい視点を発見できる場所だと思いました。機会があれば、ぜひ一度足を運んでみてください！

スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

○第60回記念枕崎市総合文化祭 作品・参加者募集

下記の期間で開催される第60回記念枕崎市総合文化祭展示部門で展示する絵画、書道、写真等の作品および11月3日(火・祝)に開催される市民芸能祭にて舞踊、楽器演奏、ダンスなどを披露する参加者を募集しています。詳細は、南浜館までお問い合わせください。

【展示部門】

- 会期 10月24日(土)～11月3日(火・祝)
- 会場 南浜館、市民会館(11月2・3日生花展のみ)

【芸能部門(市民芸能祭)】

- 会期 11月3日(火・祝)
- 会場 市民会館大ホール
- 観覧料 無料

○第57回市民運動会の開催について

今年も市民運動会を下記の日程で開催します。従来の公民館種目のほか、未就学児や小学生の自由参加種目も設けていますので、ご家族そろって参加してみませんか？

公民館種目等は、各公民館、各団体へ出場依頼をしていますので、ご確認ください。

なお、正式なプログラムは、広報紙10月号に折込み配布を予定しています。

- 日程 10月18日(日)
午前8時45分～午後2時(予定)
- 自由参加種目(参加賞あり)
 - ・親子徒競走(未就学児と保護者による徒競走)
 - ・小学生短距離走(低学年：100m走、高学年：120m走)
- 問合せ 市民運動会実行委員会事務局(スポーツ・文化振興課内) TEL76-1348

市長 コラム

vol.86

少年の船

枕崎市少年の船事業が、9年ぶりに実施されました。少年の船事業は子ども会のリーダーと育成会指導者が、三島村営船「みしま丸」に乗船し、各子ども会の交流交歓をするともに、洋上活動や三島村の風土に接した体験活動を通して、自立の気概を富むたくましい子ども会リーダーを育成し、地域子ども会の活性化を図ることを目的に昭和56年に始まった事業です。平成16年からは、事業の目的を「子ども会のリーダー研修」を中心としたものから、「黒島流れの犠牲者の冥福を祈り、黒島の方々の感謝の心を育てる」とともに、枕崎市の歴史、祖先の偉業について理解を深めること」を主旨とした事業となっています。

「黒島流れ」明治28年7月に発生した枕崎の海難史上最大の悲劇といわれる海難事故で、713名が犠牲となり、本市だけでも411名の犠牲者がでた大惨事のことです。その時、黒島の島民の方々が救助に当たってくださり、けがをした人の手当て、食事や着物の世話をしていたいたり、亡くなられた方を手厚く火葬していただいた歴史があります。

9年ぶりの開催となった今回は、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」に乗船して黒島を目指しました。出航からおよそ3時間、波に揺れる船上から濃い緑色の島の姿が見えた時は、なんともいえない感動がありました。洋上慰霊を行ったあと片泊港に入港すると、島の人たちがジャンベの演奏と踊り、そして横断幕掲げて、温かく迎えてくださいました。島での滞在時間は決して長くはありませんでしたが、枕崎からの小中学生と黒島の小中学生の交歓、そして慰霊碑「白衣観音」への慰霊訪問など、黒島の皆さんとの時間を過ごしました。

「黒島流れ」という辛い歴史があり、黒島の皆さんの温かな助けがあり、その後の先人の皆さんのご苦労があり、今の枕崎があるのだということを感じることができた貴重な一日となりました。